

令和5年度 国語科「言語文化」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 1年1～8組
教科書	新編言語文化(数研出版)	副教材等	国語便覧(大修館書店) 基礎からの古典文法(第一学習社)

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 (2)生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 (3)言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4	<ul style="list-style-type: none"> 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 	地域の「ことば」	『とんかつ』 三浦哲郎	<ul style="list-style-type: none"> 小説の内容や展開を本文の叙述に基づいて理解する。 〈言語活動〉班学習による話し合い会話や行動の描写に着目して人物の心情とその変化を読み取り、発表する。 	小テスト 行動観察 ワークシート分析
5		古文の世界を楽しむ	『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」	<ul style="list-style-type: none"> 本文の読解を通して、作品の歴史的背景を理解する。 古文の表現に慣れ、作品のおもしろさを読み取る。 〈言語活動〉班学習 作品の内容を踏まえて、題名に込められた意味を話し合う。 	小テスト 行動観察 ワークシート分析
中間考査					
6	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 	語感を磨く	『側転と三夏』 武田綾乃	<ul style="list-style-type: none"> 小説の内容や展開を本文の叙述に基づいて理解する。 〈言語活動〉班学習による話し合い会話や行動の描写に着目して人物の心情とその変化を読み取り、発表する。 	小テスト 行動観察 ワークシート分析
7		故事と成語	『戦国策』 「虎の威を借る狐」	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の読解を通して、故事成語の由来を理解する。 漢文の特色を知り、きまりを理解する。 〈言語活動〉班学習 現代日本語における漢文由来の故事成語の用例を調べたうえで、グループでその内容をまとめて発表する。 	小テスト 行動観察 ワークシート分析
期末考査					
9	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫できる。 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができ 	詩歌を味わう	「六月」 茨木のり子 「短歌」「俳句」	<ul style="list-style-type: none"> 作品を繰り返して音読し、情景を読み取るとともに優れた表現に親しむ。 〈言語活動〉鑑賞文記述 印象に残った作品の鑑賞文を二百字程度で書く。 〈言語活動〉作品創作と批評会 自分で詩歌を作り、クラスで批評会を開催する。 	小テスト 行動観察 ワークシート分析
10		昔と変わらない人の心	『伊勢物語』 「芥川」	<ul style="list-style-type: none"> 物語に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み取る。 用言の活用を理解する。 〈言語活動〉班学習 本文中の和歌を現代語の短歌に書き換え、発表する。 	小テスト 行動観察 ワークシート分析
中間考査					

11	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。 	受け継がれる古典	『羅生門』 芥川龍之介	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の内容や展開、登場人物の心理の変化を、本文の叙述に基づいて理解する。 ・〈言語活動〉班学習 ラベルワーク 『羅生門』と原作『今昔物語集』を比較し、その違いから作品の主題を理解する。 	小テスト 行動観察 ワークシート分析
12	<ul style="list-style-type: none"> ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理 	漢詩を味わう	<ul style="list-style-type: none"> 「春暎」孟浩然 「登鸛鵲樓」王之渙 「秋浦歌」李白 「江雪」柳宗元 「春望」杜甫 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩を繰り返して音読し、優れた表現に親しむ。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・〈言語活動〉班学習による訳詩作り 漢詩の訳詞を作り発表し合う。 	小テスト 行動観察 ワークシート分析
1	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができる。 	文体の魅力	『名人伝』 中島敦	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の内容や展開を本文の叙述に基づいて理解する。 ・作品を繰り返し音読し、格調高い文体に親しむ。 ・〈言語活動〉班学習 作品の構成を踏まえ、作品終盤の挿話がどのような役割を果たしているかを考え、発表する 	小テスト 行動観察 ワークシート分析
2	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。 	昔と変わらない人の心	『伊勢物語』 「筒井筒」	<ul style="list-style-type: none"> ・物語に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み取る。 ・和歌の修辞法、助動詞の用法を理解する。 	小テスト 行動観察 ワークシート分析
3	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・〈言語活動〉班学習 ・登場人物の行動について、多様な価値観から評価し、発表する。 	

3 評価の観点

知識・技能	ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。
思考・判断・表現	【書く能力】ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 【読む能力】ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。
主体的に学習に取り組む態度	(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- ・自分自身で答えを考え、メモを取る姿勢を身につけてください。
- ・辞書を用意し自らの意思で積極的に活用して下さい。
- ・分からないところはためこまずに積極的に質問をするようにして下さい。
- ・課題や提出物は期限を守り、提出するように心掛けて下さい。